

今月のことば

鏡の前に立つと
服装の乱れが
見える
仏さまの前に座ると
心の汚れが
見える

(小池秀章)

「今日、鏡を見ましたか？」

ほとんどの人は見たと思います。では、何のために鏡を見るのでしょうか。髪の毛に寝癖がついていないか、今日もいい顔しているか、服装が乱れていないかをチェックするためなど、人それぞれいろいろな理由があるでしょう。しかし、すべてに共通していることは、鏡に写った自分の姿を見て、おかしな所に気づかされ、自分の姿を正していくということです。これは、とても大切なことです。

それでは、

「今日、仏（アミダ）さまの前で、手を合わせましたか？」

仏さまの前で手を合わせるのには、仏さまに自分の願いをかなえてもらうためではありません。逆に、仏さまの願いを聞かせてもらうためなのです。「自分の願い（欲望）をかなえることばかり考えていないで、正しい道を歩んでくれよ。すべての人を必ず真実に導く」という仏さまの願いを聞かせてもらうのです。

そして、すべての人を平等に慈しんでくださる仏さまの心に出会った時、自分の心が、いかに汚れている（自己中心的）かに気づかされます。ただ、そんな心の汚れに気づかされても、すぐに心の汚れを落とし、綺麗な心になれるわけではありません。しかし、自己中心的なあり方を、申し訳ないあり方だと受け止めることができるとき、そこに新しい生き方が生まれてくるのです。

合掌

龍谷大学非常勤講師

小池秀章 こいけひであき